



南あわじ市

議会だより



▲5月4日に行われている
神代社家の上田八幡神社の春祭り



▲八木笑原の春祭り(昭和30年代)



▶戦後初めて、
神代社家で祭りを始めた時の写真
(昭和20年代)



写真提供：野水正朔氏
(二科会写真部会員)

昭和20年～30年代の 春祭り

主な内容

3月定例会の結果	2～9
一般質問	10～18
委員会レポート	20～23
議会からのお知らせ	24

編集 南あわじ市議会広報広聴常任委員会

発行 南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27

TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105 E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

第46回南あわじ市議会定例会が2月25日～3月25日の会期で開かれました。市長より25年度予算を含む議案45件と人事案件など7件、議会からは議案4件と意見書1件が提出され、審議しました。また選挙管理委員会委員の選挙なども行いました。主な議案の内容と質疑及び採決の結果をお知らせします。8～9ページに議決結果一覧表を掲載しています。



▲本会議1日目、中田市長から25年度施政方針が表明され、議会での予算審議がスタートした

平成25年度予算を可決 暴力団追放条例を制定 保育所のあり方検討委員会条例を制定

3月定例会の日程

2月25日	定例会第1日目（議案上程ほか）
2月26日	定例会第2日目（ ）
3月1日	定例会第3日目（一般質問、代表質問）
3月4日	定例会第4日目（ ）
3月5日	定例会第5日目（ ）
3月7日	定例会第6日目（ 、議案追加上程）
3月11日	予算審査特別委員会（議案審査）
3月13日	
3月14日	
3月15日	
3月18日	総務常任委員会（議案審査）
3月19日	文教厚生常任委員会（議案審査）
3月21日	産業建設常任委員会（議案審査）
3月25日	定例会第7日目（採決ほか）

南あわじ市選挙管理委員会

委員・補充員の選挙 当選者

- 委員
- 山田 泰生（倭 文）
 - 濟藤 孝信（津 井）
 - 池田 喜昭（八 木）
 - 東 康弘（賀 集）
- 補充員
- 第1順位 西久保俊史（伊加利）
 - 第2順位 檜原 功（神 代）
 - 第3順位 長田 久（山 添）
 - 第4順位 稲山 益男（北阿万）

兵庫県後期高齢者医療広域連合

議会議員の選挙 当選者

- 川上 命（市議会議員）

副市長を1人増、2人制に 副市長定数条例の一部改正

■議案内容

重要施策の積極的取り組みや諸課題に、スピード感をもって対応できる体制づくりのため、副市長を2人にする。

■委員間討議

費用対効果等をもっと検討してから提案してきてもよかったのではないかと議論。

■討 論

反対 蛭子智彦議員
賛成 廣内孝次議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

問 県下で副市長複数制の自治体数は。

答 29市中10市である。

問 本市と同程度の人口規模ではどうか。

答 洲本市、豊岡市、小野市の3市が2人制

市長、副市長、教育長の 給与を減額

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

■議案内容

25年4月1日から1年間、市長の給料月額を100分の10、副市長及び教育長の給料月額をそれぞれ100分の5減額する。

■主な質疑

問 今回の引き下げは、特別報酬等審議会に諮問する必要はないのか。
答 自発的に引き下げの場合は必要がない。

■議案内容

前回報酬審議会に諮問したときは、副市長が1人制であり、今回2人制にするのであれば改めて諮問すべきでないか。
答 報酬審議会では副市長そのものの報酬を定めている。

■討 論

反対 蛭子智彦議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

新型インフルエンザ等対策 本部条例を制定

■議案内容

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言以降に設置が義務付けられる「市新型インフルエンザ等対策本部」について、必要な事項を定める。

■主な質疑

問 条例第1条に新型インフルエンザ「等」とあるが新型インフルエンザ以外に何が想定されるのか。
答 過去にまん延した新興インフルエンザや新感染症が含まれる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

保育所の今後のあり方を検討 保育所のあり方検討委員会条例を制定

■議案内容

今後の保育所の運営のあり方等について検討するため、委員会の設置等に関して必要な事項を定める。

■主な質疑

問 この検討会で保育所だけでなく、幼稚園のあり方も検討してはどうか。
答 教育関係者にも検

討委員会に入っていた

だき検討したい。

問 合併後8年を経過した今になって、検討委員会を設置する理由は。

答 少子化による入所児童数の減少。その一方で3歳未満の低年齢児の入所が増加してい

る。また保育士等の正規職員の人数を改めて検討する必要が生じたため。

問 保育所の民営化も検討するのか。

答 検討内容に含まれる。

問 検討委員会の委員の公募や会議の公開は。

答 検討委員会委員の公募や会議の公開は、

録のホームページ公開は検討したい。

問 いつまでに検討結果を市長へ出すのか。

答 26年2月までに答申する。

■討 論

反対 蛭子智彦議員

■議決結果

賛成多数で原案可決



平成25年度予算を審査

25年度一般会計・特別会計等予算(15件)

25年度一般会計・特別会計予算は「予算審査特別委員会」を設置して4日間にわたって審査しました。

審査過程で委員から出された主な意見等は次のとおり。

一般会計予算

歳入

滞納の解消

滞納対策として、不

固定資産税の軽減

定住促進のため、若い世帯の住宅新築に対

歳出

ふるさと南あわじ 応援寄附金

21年度以降、寄附金が減少している。寄附に対する意欲の高揚とリピーター確保に努めること。

若人の広場整備 (5億6000万円)

戦没学徒の英霊を顕

する固定資産税の軽減を検討すること。

彰し恒久平和の発信と交流人口の増大を図るため、公園整備後は市内外に広く呼びかけて式典を実施するなどPR活動を積極的に進めたいこと。



▲平成27年完成予定の若人の広場(イメージ)。平成24年～26年度の総事業費11億8千万円のうち、国・県からの補助金と地方交付税算入により、実質的な市の負担は約7千万円となる見込み

平成25年度 南あわじ市予算

一般会計 260億8,000万円 (前年比+6.9%)

特別会計 188億1,144万4千円 (前年比△1.9%)

内訳として

- ・国民健康保険特別会計 … 64億2,801万7千円
- ・後期高齢者医療特別会計 12億3,715万2千円
- ・介護保険特別会計 …… 45億6,949万5千円
- ・下水道事業会計 …… 50億3,398万6千円
- ・他10特別会計 …… 15億4,279万4千円

合計 448億9,144万4千円 (前年比+3.0%)



▲4日間行われた予算審査特別委員会

いなりこ予算

(市民生活応急措置費 4000万円)

地域の要望に応じて小規模修繕等を即時対応できる便利な予算であるので、予算不足が生じないよう配慮すること。

地域おこし協力隊

(1601万円)

人口減少や高齢化が著しい地域での買い物弱者対策、農林漁業の応援などを行うことを目的としているが、25年度から3年間の事業期間であるので、事業終了による弊害が生じないよう配慮すること。

コミュニティバス

(運行委託費等 8162万円)

利用状況の調査や利用者アンケートを行い、今後のあり方について引き続き検討を行うこと。

洲本市・南あわじ市 衛生事務組合負担金

(5億9979万円)

本市は、ごみの分別や減量化の取り組みで、市民1人あたりの持ち込み量が、島内3市の中では一番少ない。しかし負担金は人口割りであるので、持ち込み量割りとするよう取り組みこと。

子宮頸がん予防接種

(医師委託料 9663万円)

25年度から子宮頸がん予防接種が定期予防接種となった。市は学校や保護者に対して、接種による副作用の危

険性や子宮頸がん予防の啓発に取り組むこと。

浮体式多目的公園

メガフロート

(ストックマネジメント委託料 360万円)

南海トラフ巨大地震の津波でメガフロートの津波でメガフロートが留め杭から外れ、被害を拡大させる恐れがある。撤去を含めた今後のあり方を検討すること。

農業委員会費

(5038万円)

遊休農地の解消に向け、農業委員会の調査体制の強化に積極的に取り組むこと。

婦人会

(補助金2809万円)

婦人会活動をしていない地域が多くなってきている。衰退の原因を調査し、今後のあり方を検討すること。

各種補助金

担当部で補助金の申請や報告の段階で、十分チェックを行い、適正な執行に努めること。また補助金を継続的に交付する場合は、毎年必要性を検証すること。

特別会計

産業廃棄物最終処分事業特別会計

処分場は今後10年程度利用可能としているが、災害の発生等により予定より早く満杯になる可能性もあるので、次の処分場の確保や地元との調整に努めること。

ケーブルテレビ事業特別会計

他社への移行により加入者が減少している。

下水道事業会計

毎年、一般会計からの多額の補助金が入っている。人口減少に伴う事業縮小の検討や、施設の統廃合、加入促進及び経営の合理化に取り組むこと。

国民宿舎事業会計

年間を通じて観光客が慶野松原や国民宿舎を訪れるよう、観光振興に取り組むこと。また景観を生かした結婚式など、新たな企画を検討すること。

討論

一般会計予算の賛成討論を小島一議員が行い、国民健康保険特別会計予算の反対討論を蛭子智彦議員が行いました。

暴力団排除条例を制定

議案内容

暴力団排除に関する基本理念を定め、関係機関との連携を図り、市民、事業者、市が一体となって、暴力団による不当な影響を排除することを目的とした条例を制定する。

主な質疑

問 条例第5条で市民及び事業者の役割が規定されている。具体的にどんな役割を期待されているのか。
答 4点ある。

- ① 利用しない
- ② 恐れはない
- ③ お金を出さない
- ④ 交際しない

議決結果

賛成多数で修正案は否決となりました。(15件)

議案内容

問 条例第6条で市の事務及び事業で、暴力団関係者を契約の相手としないことある。市の対応窓口は。
答 市の契約事務は管財課。市民窓口は生活環境課。

議決結果

問 条例は制定してはいるが、具体的な実施はいつからか。
答 条例は制定してはいるが、具体的な実施はいつからか。また本市には防犯協会があり啓発活動を行っている。賛成多数で原案可決

平成24年度補正予算を審査

一般会計 補正予算

■議案内容

国の補正予算に伴う事業費の追加や各種事業の精算などで、歳入歳出それぞれ8億3371万円を追加。

■主な質疑

●繰越明許費の追加

繰越明許費が20事業、14億円あまり計上されている。国の補正予算に対応したためか。
答 国の補正に対応したものが10件で繰越明許費の総額の約半分である。

※繰越明許費とは
予算は会計年度内に使用することが原則であるが、事情で年度内に完了することが困難な場合、議会の議決を経て、翌年度に繰り越すことができる。

道路新設改良事業4億6230万円の繰り越しとなった理由は。

答 主なものは茶屋池線道路新設改良工事で、設計及び用地交渉が遅れたため。
問 小中学校組合負担事業2億2327万円の繰り越しとなった理由は。

答 広田小学校の大規模改造工事及び増築工事に對する負担金で、国の24年度の補助金が年度末に追加配分されたのと、今回の国の補正予算に対応したため。

●離島航路補助金の増額

離島航路補助金が増額されている。これで収支が合うのか。
答 毎年1億円程度の増額が前年度より増えている。14集落からの申込みがあり5集落のプランが認定され、4名の新規就農者があつた。

赤字が続いており、その約8割が国から補填されている。残りの約9割が市、1割が県で補填している。

問 赤字解消の振興策を実施しているか。

答 地域おこし協力隊や、あわじ環境未来島構想重点地区に指定し、活性化を図っている。

●新規就農補助金の減額

新規就農総合支援事業補助金が1725万円減額されているが理由は。
答 24年度から始まった国の事業であるが、その支援を受けるためには、新規就農者を受け入れる集落ごとに「人・農地プラン」を作成することが前提となつている。14集落からの申込みがあり5集落のプランが認定され、4名の新規就農者があつた。

●路線バス運行費補助金の増額

地方路線バス運行費補助金の増額理由は。
答 淡路交通の鳥飼線、長田線、都志線の赤字が拡大したため。赤字の約3分の2は国等の補助金で補填されている。

●鳥獣被害防止経費の減額

鳥獣被害防止対策協議会整備事業補助金

た。まだまだ集落ごとに受け入れ態勢が整っていないため補助金の活用が少ない。



▲鳥獣被害防止柵

1548万円減額の理由は。
答 鳥獣被害防止柵の原材料費を補助しているが、見込んでいた分より補助申請が少なかった。

問 申請が少ない原因は何か。

答 原材料費のみを補助しているため、設置した経験のない集落は敬遠しているのではないか。

議決結果
賛成多数で原案可決

土地開発事業 特別会計 補正予算

■議案内容

企業団地事業に際して借り入れをした地方債を完済させるため等による補正。

■主な質疑

問 補正内容は。

答 現在、起債の残高が2億7400万円あり毎年1.5%の利息がかかるため地域開発基金(貯金)2億5600万円の取り崩しなどを行い全額繰上げ償還する。

問 企業団地事業の収支は。

答 2区画売却できていないが、これも土地売却収入に含めての収入総額が61億8200万円。支出が66億1千万円。差引4億2800万円の赤字になる。

員等の報酬を定める。

■主な質疑

問 市民交流センター長の報酬が16万円であるが、20万円でなかったのか。
答 公民館長との兼任であり、公民館長の報酬4万円と合わせて20万円になる。

議決結果
賛成多数で原案可決

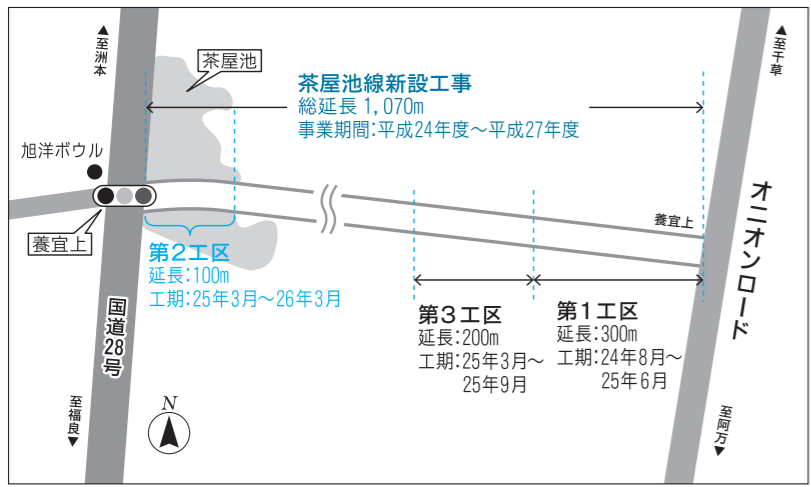
特別職の職員で 非常勤のもの 報酬及び費用弁 償に関する条例 の一部改正

■議案内容

市民交流センター及び保育所のあり方検討委員会の設置に伴う委

共に事業推進を図りたい。

議決結果
賛成多数で原案可決



養宜からオニオンロードへの 接続道路

茶屋池線道路新設改良工事(第2工区)請負契約の締結

■議案内容
茶屋池線道路新設改良工事(第2工区)3億901万円の請負契約を承認する。

■主な質疑
問 本線及び接続道路の完成後における計画通行量は。
答 1日の通行量を、5千台と見込んでいる。

問 国道とオニオンロードを結ぶことにより、阿万地区から、この茶屋池線を経由して国道交差点までの時間短縮は。

答 26分が16分となり10分短縮する。

問 オニオンロードの進捗状況は。
答 現在の進捗率は83%。平成27年度の全線開通に向けて、県と

国民健康保険 特別会計 補正予算

■議案内容
国からの繰入金・補助金等の確定や精算等による補正。

■主な質疑
問 財政調整基金の残高は。
答 24年度末で1億1581万5千円。

問 基金残高の基準額はいくらか。
答 国の基準では、保

介護保険特別 会計補正予算

■議案内容
保険給付費の実績を踏まえ、本年度の事業費を推計したこと等による補正。

■主な質疑
問 減額が多い理由は。
答 4月から特別養護老人ホームの60床が増床される計画があり、介護施設サービス給付費を4月分から見込んでいたが、施設の受け入れ体制が整い満床になるまで3か月ほど要したため、その分減額が生じた。

赤字が続いており、その約8割が国から補填されている。残りの約9割が市、1割が県で補填している。

問 赤字解消の振興策を実施しているか。

答 地域おこし協力隊や、あわじ環境未来島構想重点地区に指定し、活性化を図っている。

た。まだまだ集落ごとに受け入れ態勢が整っていないため補助金の活用が少ない。

1548万円減額の理由は。
答 鳥獣被害防止柵の原材料費を補助しているが、見込んでいた分より補助申請が少なかった。

問 申請が少ない原因は何か。

答 原材料費のみを補助しているため、設置した経験のない集落は敬遠しているのではないか。

員等の報酬を定める。

■主な質疑
問 市民交流センター長の報酬が16万円であるが、20万円でなかったのか。
答 公民館長との兼任であり、公民館長の報酬4万円と合わせて20万円になる。

議決結果
賛成多数で原案可決

Table with columns for proposer, proposal name, decision result, and individual council member votes (中村三千雄, 川上命, etc.).

・議運＝議会運営委員会 ・産建＝産業建設常任委員会

国に意見書を提出 乾草・配合飼料の 価格高騰対策を求める意見書

産業建設常任委員会から「乾草・配合飼料の価格高騰対策を求め...

付のための財源確保を講ずること。 ②経営安定対策事業の継続的・安定的な運用や酪農経営を...

③国産飼料の自給率向上など乾草・配合飼料の価格高騰対策を図ること。 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書提出先

内閣総理大臣 農林水産大臣



①制度上策定された補てん金の満額交...

議決結果一覧

議長(森上祐治)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

Summary table of council decisions for various proposals, including budget items and administrative matters.



問 3選おめでとうございます。政治生命の全てをかけて責務を全うする覚悟とは。

市長 将来への不安、政治だけではなかなか解決できない。将来展望を示し市民の方々と一緒に取り組んでいく。

問 TPP後を見据えた農業施策、対策等考えておく必要は。農業振興部長 安全・安心・新鮮・おいしい食材、淡路島ブランドを情報発信し、他の地域との差別化を図る。

問 避難路の整備も

問 メーンになる避難路に面した家屋の移転、消防、防災の拠点施



▲福良向谷に整備した避難路

会派代表質問

市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

施政方針について

進んでいるが、市内でも最も被害が出ると想定される福良地区人口約5500人、高齢化率37%、現状の避難路では全住民が指定場所、高台へ逃げるには無理がある。

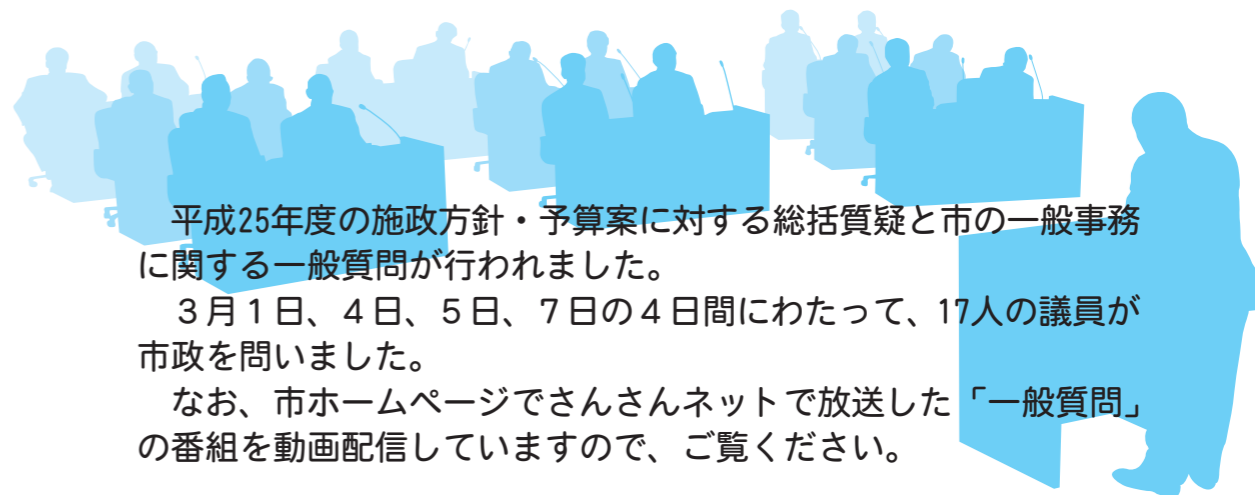
総務部長 福良の101号線、両サイドの民家の耐震補強をお願いし、耐震診断・計画・設計と最終的には改修へ考えているが、所有者の理解、協力が進まずスムーズにいかない。

設も津波の被害を受け、その機能が果たせない、高台に消防施設の移転と立ち退きの代替用地を含めた宅地造成等は考えられないか。

総務部長 大きな事業は地域の盛り上がりが非常に大事。地域の理解・協力がなければできないこともある。

一般質問

市政を問う



平成25年度の施政方針・予算案に対する総括質疑と市の一般事務に関する一般質問が行われました。

3月1日、4日、5日、7日の4日間にわたって、17人の議員が市政を問いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

会派代表質問

ゆづるはクラブ 中村三千雄 議員

市長は今回の選挙結果をどの様に受け止めているか

市長 第一期目から市全体の一体化、この事が大きなターゲット、目標として取り組んできたが、まだまだ道ほど遠いという感じを強く受けた。結果としては支援者、市民の方々に御礼申し上げたい。三期目は経験、実績、人脈を通じて市民の負託に応えたい。

教育の再編について基本的な考えは

教育長 複式学級の解消と中学校ではクラス替えが出来る学校というのが基本である。今後とも再編については関係地域にしっかりと説明して理解を得ながら進めていきたい。

新庁舎完成に伴い旧庁舎の活用は

市長公室長 緑庁舎は跡地利用検討委員会より提案されている。このことについて進めたい。

西淡庁舎は県道拡幅工事の計画に合せ調整していきたい。



▲辰美中・御原中を統合し、4月に開校した西淡中学校

会派代表質問

政真クラブ 川上 命 議員

市長選挙での市民との約束

問 市民の多くは中田市長の継続を選んだ。

これは防災、津波対策、小中学校の耐震化、少子対策など2期8年の実績が評価されたと言える。

中田市長は今回の選挙戦を通じて市民と多くの約束をしている。「私は最後の仕上げをしたい」、「どんな厳しい時代でも乗り越えていける」、「強い南あわじ市の礎をしっかりと造ることが私の使命だと思っている」と述べられ、市民との対話、人材育成、里づくり他、

多くの約束をされている。このことについて。

市長 これまでできるだけ対話をしてきたが、真意をうまく伝えていく、そういう中身ができていなかったなと思う。反省の一つかという風に思った。

3期目という非常に大きい負託を受けただけ、これまでの8年も大事であったが、これからの時代、非常に厳しい世の中であることに間違いはないので、それをいかに理解していただき、そしてともに汗をかいていただくような取り組みができるようにしていくのがこの私の4年、3期目の大きな役割と

この他、災害弱者について。県道阿万福良湊線について。幼保を含めた学校統合と跡地について。特に県道については登立から津井、丸山の道路拡幅工事を早急にすることについて質問した。

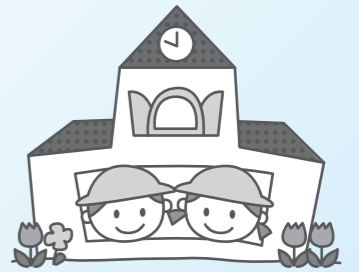


期目の大きな役割と



公立保育所を
つぶしてはいけない

問 市立保育所の保育士は180名、内訳は正規職員は64名、非正規職員が116名である。
正規職員64名の内50歳以上が34名、20代の正規保育士は1名で、若い正規職員がいない。
市立保育所の運営ができなくなるのでは。



健康福祉部次長 職員採用を抑えてきたことが原因。
問 正規職員採用を抑えてきたのは公立保育所をつぶす意図があったのではないか。
市長 初めから意図していない。
問 保育士を採用しないで、いびつな年齢構成にしてきた事に民営化を進める意図は明白。
多くの保護者は公立保育園を希望している。
公立保育園の値打ちが分かるように進めてほしい。
保育所のあり方を

健康福祉部次長 保育士正規職員は64名、臨時は85名である。
臨時職員に頼るという面は続く。
問 臨時職員に頼るのは、保育に対する



他に、津井公民館、慶野松原活性化などを質問した。

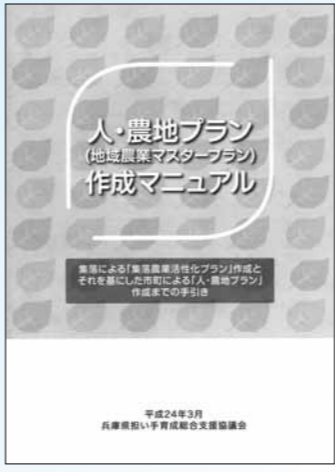
これからの農業について

青果商を地域農業の担い手に

問 青果商が周辺のサラリーマン農家や高齢化した農家の農地を預かって営農する形態を「人・農地プラン」に位置づけることはできるか。
農業振興部長 集落において「人・農地プラン」での中心的経営体として位置づけられれば担い手に該当する。

大学に就農専門コースを設けては

問 農家の後継者や就農が確実視される



▲人・農地プランは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」で、様々なメリットがある

学生に対して、地域創成農学部で青年就農給付金準備型の専門コースを設ければ、研修で2年間の給付金が受けられ、卒業後就職すればさらに5年間の給付金が支給される。問題は非農家の学生の就農と「人・農地プラン」に入れてもらうことだが、円滑化団体を農協が取得し、アグリアイランド自体も農業生産法人になっていただければ、遊休地を解消した農地を貸すこともでき、後

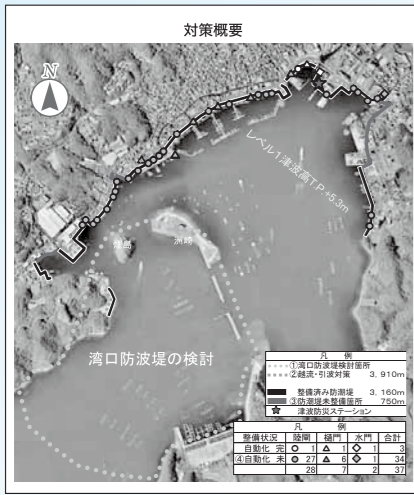
継者育成等につながる。
農業振興部長 最大限活用するように奨めていきたい。
市民に開かれた大学に
問 公開講座で勉強したいという声も聞くが、プランはあるか。
農業振興部長 学内に地域連携センターや植物クリニックセンターを設置して、学びの里づくり、いわゆるまちキャンパスとしての役割も計画されるように聞いている。

施政方針について

問 この4年間、集大成の基礎となる成果とはっきりした路線が示せたのか。
市長 ある部分は取り組んでこれたかな。全てがいついていなかった。

問 地域創成の基礎で一番重要視は何か。
市長 財政が柱をなすわけで。

問 産業基盤で地域産業の再生と復興・新たな産業の創成と企業家の育成・企業誘致による産業の開拓、この3点あるが部長は。
産業振興部長 地元ブランド化やマー



▲兵庫県が津波防災インフラ整備5カ年計画として福良港に湾港防波堤の整備が検討されている

ケ ティンクをやっている。企業誘致もいくつかあたって進まない。
問 政府は農産物輸出、4500億円から2020年に1兆円にする。企業が農業産業に進出する可能性が高い。
農業振興部長 そういう傾向かな。

カ 所整備した。101号線で避難道の縦道の幹線での住宅耐震化が14戸耐震改修が必要で所有者と話し合いながら進める。
問 避難所の対応の仕方を訓練する必要があるので。
総務部長 避難状況を確認できる一番大事な手段。
問 福良湾口防波堤に地元、市長、知事共々、国へ要請を。
市長 議員の言うようにに早急に整備につけ積極的に取り組む。

施政方針について

問 新庁舎建設に伴う開発許可時の規制について。
市長公室長 消防用防火槽40×2基並び緑地規制平均17.7%緑地帯を設ける。
問 市民憲章にうたわれる市の木(黒松)、市の花(水仙)の活用計画は。
市長公室長 市の木(黒松)は、既に設計に入り、水仙は植栽計画を立てていきたい。

問 市民交流センターモデル事業の運営は。
市長公室長 モデル地区5カ所、松帆、伊加利、西淡志知、

三原志知、神代地区については良い面、悪い面も2年間検証し、平成27年1月全地域に設置したい。
問 南あわじ志知キャンパス地域創成農学部の入学状況は。
市長公室長 大学からの報告では、71名の合格者に通知し、現時点で54名の方が入学者の口座振込をして頂いている。(3月4日現在)



▲4月に開学した吉備国際大学地域創成農学部(志知キャンパス)

問 若人の広場公園整備事業は。
都市整備部長 記念塔、展示棟、石垣等、改修補強を実施、平和のシンボリックな公園化を平成27年完成を目途に実施する。
問 鳴門のうず潮世

界遺産登録の推進について。
産業振興部長 平成24年10月に世界自然遺産登録推進協議会を設立し、のぼりや垂れ幕、啓発グッズなど作成し、啓発活動を図っていく。
その他、防災対策、危機管理、地震津波風水害、ハザードマップ作成、常備消防のあり方等質問した。

新庁舎建設と 市民交流センターについて

問 新庁舎の進捗状況と工程の見直しは。
市長公室長 事前協議に手間取ってざりざりの状況であるが、予定通りいくが、今後スケジュールが1カ月も延びるようであれば考えたい。

3期目の 市政について

問 命の里づくりについて、防災訓練はもっと実際のなものにする必要があるのではないか。
総務部長 今後地元と協議しながら進めたい。

問 市民交流センターについて、十分に周知されていない。今後いろんな機会を捉まえて市民に対する説明をして頂きたい。
また、旧町単位での税務相談についてもこれまで通り継続してもらいたい。

問 小中学生の通院医療費について、入院費と同じく中学校3年生まで無料にしてはどうか。
市長 7月から条例改正をした中で取り組むようにしている。財政や担当部の考え方も勘案してそういう方向にできればと思うている。



問 3期目の市政に対する決意は。
市長 選んで頂いた



人たちの思いに何かしら付加して取り組んでいくのが私の総仕上げであり、そういう思いを失うことなく、4年間一生懸命取り組んでいきたい。
その他、「生業の里づくり・市内企業の転廃業についての支援」「学びの里づくり・寺子屋」について等、質問を行った。

25年度予算について

問 25年度予算の特殊は。
財務部長 ①前年度比6.9%増の予算規模であるが収支バランスの取れた編成。
②新庁舎建設、若人の広場等々の投資的経費が前年比18.2%、6億5千万円増。
③実質公債比率は更に低下し、14.8%程度になる見込み。



▲平成26年度の新庁舎開庁に目指し、平成25年度に建設工事に着手する



問 配分上配慮した点は。
財務部長 ①防災対策に前年度比26.1%増の1.5億円の事業費。
②少子対策に前年度3.1%増の14億7千万円を配分。
③

経常経費を削減し、42億円の投資的経費を確保。
安倍政権移行による国の緊急経済対策の関連は
財務部長 地方の元気づくり交付金で1億6千万円。使途は屋外拡声器の整備、保育所の整備、サイクリングターミナルの改修等。

国のインフラ強化施策への対応は
財務部長 川、橋、公共施設含め管財課等で状況把握中。
国の地方公務員給与削減要請の関連は
財務部長 7.8%の公務員給与削減に見合う交付税の減額がある。それに見合う元気づくり交付金の上乘せがあっても交付税は1億8千万円減額。但し本市においては公債償還の交付税算入が増え概ね相殺となっている。
総務部長 国家公務員7.8%減と比較した本市のラスパイルス指数は104.8%になる。4.8%の削減要請と理解し、今の段階では注視の方向。

非構造部材の早期耐震化を望む

問 学校施設における非構造部材の耐震化の現状と今後の取組みは。
教育部長 24年度は八木小の特別教室、福良小の屋内運動場の耐震化を実施。



▲24年度に耐震補強工事を行った福良小学校屋内運動場

通学路の安全対策を今年度中に

25年度は小中学校の全てを点検する予定。
問 国の方針に基づき、天井、照明、内外壁等の耐震化は27年度までに済ませるべき。
教育部長 予算のこともあるが、それに向けて取組んでいきたい。

問 24年度の通学路安全点検をふまえた対策は。
教育部長 要緊のあった50カ所中24年度は24カ所につき実施、残り26カ所についても25年度に実施したい。

軽度・中度における補聴器購入の補助を実施

問 県では身体障害



者手帳を持たない軽・中程度の難聴児に対して、補聴器購入時の補助を実施するが、市の取組みは。
健康福祉部長 市として、県と同程度の補助をしていく。
障害者優先調達法の周知徹底を
問 障害者優先調達法に対する市の取組みは。
健康福祉部長 周知のために広報で法律の紹介をした。今後、①市内の障害福祉事業所の紹介②商工会等への授産品購入の依頼を検討している。市役所内での取組みとして、授産品の調達やイベント会場の販売場所の確保を依頼している。

慶野海岸 浸食防止対策事業について

問 慶野海岸浸食防止事業である海岸北側部分の慶野五色海岸農地海岸（200m）未整備区間の事業計画の進捗について。
農業振興部長 県事業として24年調査設計。25年7600万円予算のもと工リーフを4月から9月にかけて100m事業の計画。

から浸食防止3段階への対応、要望について。
教育部長 1月に改めて3段階積みへの取組を市長名で県を通じて国へ要望書を提出している。
問 慶野松原全体の松木緑の変化とその対応等について。
教育部長 変化については枯れ発生の被害を認識している。対応等については松木保存管理計画の策定、松くい虫被害防除対策、薬剤散布等効果的な対応と松林の育成管理計画など現状認識把握のものと確に対応する。



▲白砂青松の慶野松原海岸

問 三原川水系整備計画の事業進捗と低

地帯排水などの分離排水、掘岸樋門での強制排水について。
都市整備部長 入貫川排水機場は21年から計画事業着手。25年6月供用開始に事業が進んでいる。分離排水は現状を踏まえた改良計画である。掘岸での強制排水は市の対応となるので事業的に検討すべき課題である。

政真クラブ 久米 啓右 議員

遊休農地対策 (耕作放棄地の解消)

問 遊休農地対策での国・市の取組みは。

農振部長 農地利用集積円滑化事業。南あわじ市は、農地所有者から委託を受けて農地の貸し借りを代行する農地利用集積円滑化団体になっ

ている。ただし、団体としての活動実績はない。

問 遊休農地に対する農業委員会の役割は。

農業委員会事務局 農地法では毎年1回農地の利用状況を調査し、遊休農地の所有者には利用の増

進を指導する。

問 これまで活動実績は。

農業委員会事務局 平成24年度調査結果の再確認中である。

問 遊休農地のデータ管理は。

農業委員会事務局 地図に緑と黄色と赤の色付けし、農地の所有者や地番の管理はパソコンでデータ化されている。

問 遊休農地データの共有は。

農振部長 農業委員会と農林振興課でデータを共有している。

問 遊休農地のデータは、事業拡大する農家に情報提供できるのか。

農振部長 色付



▲耕作放棄地の解消

けた地図のみの提供は可能であるが、所有者や番地は提供できない。

問 情報の過剰な秘匿性は南あわじ市の耕作放棄地の解消という施策に逆行する。

市長 市の施策と個人情報管理に整合性がとられていないと感じられる部分もある。市が責任を持って借り手に情報提供できる方法を検討する。

市長 市の施策と個人情報管理に整合性がとられていないと感じられる部分もある。市が責任を持って借り手に情報提供できる方法を検討する。

市長 市の施策と個人情報管理に整合性がとられていないと感じられる部分もある。市が責任を持って借り手に情報提供できる方法を検討する。

市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

市長選挙について

問 選挙結果について。

市長 この2期重要施策、特に防災・少子対策地域経済等頑

張ってきたが多くの人に評価も得られてい

なかつたのかなと思

っている。今後市民の方々の思いも取り入れて行っていく。

問 投票率が62.19%で低いと思う。平成21年に投票所を45カ所から30カ所に減らしたのが要因の一つでないか。

総務部長 投票所の公平性や距離、有権者数の基準を作り見直した。

問 「次を託せる候補

問 24年度建設工事発注額は。

財務部長 158件、21億5千万円余。(2月20日時点)

問 可能な限り市内業者に発注を願っているが市外発注件数は。

財務部長 3件である。

問 消耗品・備品購入が23年度3億円余。購入方法は。

財務部長 見積り合わせをし、低い方をお願いして、単価に同意された他の業者にも納入を願っている。

問 最低制限価格制度の主旨は。

財務部長 過度な競争がダンピング防止等のため24年4月より適用している。

問 最低制限価格に対して落札率は。

財務部長 最低制限価格は概ね88%、落札率は概ね91%で推移



▲3月に竣工した市営福良住宅

市民連合・無所属クラブ 蓮池 洋美 議員

南海地震対策について

問 南海地震対策の進捗状況は。

総務部長 ハード面では避難路の整備を進めている。ソフト面では避難マニュアルを整備する。また国が見直した被害想定を受け、県はより詳細な被害想定を作成中で、それができた段階で、市内版のハザードマップを全市帯に配付しようと計画している。

問 避難路の機能が発揮できるよう、隣接する老朽家屋の倒壊対策と、一歩踏み込んだの高台移転を市として取り組めるのか。

産業振興部次長 本体は幅60m・長さ101mの鋼製で約6419トある。11年経過しているので25年度で機能保全計画

産業振興部次長 現在、幅員4〜5mの市道で10数軒、耐震補強が必要で、ご理解いただけるよう進めている。また地域の協力や盛り上がりによって、国の事業で幅員10mの都市防災道路を高台に整備される可能性もあり、倒壊の心配や避難者の安全も守れると理解している。

問 福良湾口に設置している浮体式多目的公園(メガフロート)の大きさは、また津波に耐えられるのか。

産業振興部次長 本

産業振興部次長 遅

遅

遅

遅



遅



▲福良湾口に浮かぶ海釣り公園メガフロート

市民連合・無所属クラブ 登里 伸一 議員

津井地区の諸課題について

問 津井といえば瓦、瓦といえば津井と言われる。瓦産業の裾野は大きい。長期の不況で廃業者が続出している。どう考えているか。

産業振興部次長 400年の伝統がある瓦産業には、瓦屋根奨励金制度、新製品の軽量瓦・耐寒瓦のPR支援、海外販路拡大PR事業など、組合員・生産枚数の大きな減少があるが、変わらぬ施策と支援をしている。また今年には消費税アップによる駆け込み需要にも期待しているところである。

問 休業中の償却資産税が重い、減免措置等できぬか。

市民生活部長 所有していればかかる税である。いろいろな業界があり厳しいところも多い。基準、根拠、判定等が難しく法令どおり対処せざるを得ない。

問 津井伊加利線は工事が進んでいる。県道改良の状況は。それまでに危険な登立の坂道の視距改良工事が出来ぬか。

都市整備部長 地元

都市整備部長 地元

都市整備部長 地元

都市整備部長 地元

都市整備部長 地元

都市整備部長 地元



都市整備部長 地元



▲工事が進む市道津井伊加利線

平成24年度分 実績報告 『議長交際費』と『政務調査費』

情報公開

議長交際費

議長交際費とは、議長が議会を代表して出席する対外的行事に対して支出している経費です。24年度支出内容は下表のとおりです。(24年度予算計上額70万円)
市ホームページには、支出基準等の解説を加えて、ひと月ごとに公開しています。

議長交際費支出報告(平成24年度)
Table with 4 columns: 区分, 件数, 支出額(円), 合計. Rows include 祝金, 見舞金, 香料, 供花, 賛助, 会費, その他, 合計.

政務調査費

政務調査費は、議会の活性化と政策立案能力の充実強化を図るため、議員の調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。※25年3月以降の交付分から「政務活動費」と名称変更します。

交付金額は、議員1人あたり年間15万円(月額12,500円×12カ月)として、会派に交付しています。(交付申請のない会派には交付していません。)

24年度の実績報告として各会派から提出があった実績報告書は、閲覧用として整え、5月13日(月)から議会事務局に設置します。どなたでも閲覧できますので、ご利用ください。

また、概略版を市ホームページ(5月13日から)と議会日より(7月31日発行分)で掲載します。

議会事務局 ☎43-5005

品質管理について

公共工事の品質管理、責務は。都市整備部長 仕様書及び設計書の作成、予定価格の作成、入札及び契約の方法の選択、業者の決定、工事の監督検査並びに完成時の確認他、事務を適切に実施する。

計画、予算のチェックは。都市整備部長 設計業者を選定し、計画策定を依頼、計画策定に係る詳細内容等の協議を行い予算計上する。

プロジェクトチームを組むとか都市整備部長 職場の活性化、まちづくりを進めるといふ観点から、自主性を尊重する。



職員提案制度について 提案が少ないが増やすには。市長公室長 職場の活性化、まちづくりを進めるといふ観点から、自主性を尊重する。

道路整備について 新庁舎建設にかかわる周辺道路の整備。市整備部長 非常に難しい状況。掃守から西淡は、ほ場整備を絡めなければ無理である。市整備部長 非常に難しい状況。掃守から西淡は、ほ場整備を絡めなければ無理である。



▲新庁舎前面道路

政真クラブ 廣内 孝次 議員

緊急雇用事業について

市役所に単年度契約の緊急雇用がなされているが、市内企業・事業所への継続雇用者を増やすことこそが市の行うべき雇用対策ではないか。

市長 国の施策での事業者を支援する雇用対策事業も始まる。また、防災・減災事業や福祉事業への雇用施策を特区で出さないか、国へ起案していく考えも持っている。

幼児教育について 子育てをするなら南あわじ市とのこ。健康福祉部長 「保育所のあり方検討委員会」を含めて協議されていくものと思っている。



三世同居・近居の推進を 三世以上の親族が同居・近居する。健康福祉部長 「保育所のあり方検討委員会」を含めて協議されていくものと思っている。



ゆづるはクラブ 出田 裕重 議員

世帯に対して、例えば住宅の購入・増改築、または家賃等への費用の一部を助成する等の考えは。市長 全国の3世代同居率が7.1%。兵庫県は5.7%。南あわじ市は16.6%。子供の育成、子育て施策として取り入れていくのもよいと考え

議会活動日誌

1月

- 4日 仕事始め式(正副議長、議会運営委員長、各常任委員長)
6日 消防団初出式(正副議長、総務委員)
7日 会派代表者会議
9日 広報広聴常任委員会
10日 総務常任委員会
12日 淡路地区郵便局長会新年会(副議長)
13日 成人式(正副議長、文教委員)
15日 産業建設常任委員会
16日 商工会法人部会新年互礼会(議長、産建委員長)
17日 ひょうご安全の日1・17のつどい(議長)
18日 広報広聴常任委員会
21日 議会運営委員会
23日 東播・淡路市議会議長会定例会(正副議長)
24日 文教厚生常任委員会
25日 淡路瓦工業組合講演会ほか(議長、産建委員長)
28日 近畿市議会議長会理事会並びに研修会(議長)
29日 兵庫県市議会議長会理事会議(議長)

2月

- 2日 水産まつり(議長、産建委員)
3日 B&G会長杯全淡柔道大会(議長)
4日 5日 広報広聴常任委員会視察研修
6日 滋賀県甲賀市議会視察受入(広報広聴委員)
7日 術科始め式(副議長)
8日 全国難島振興市町村議会議長会総会・研修会(副議長)
10日 三原ミニバスケットボール教室交歓会(議長)
11日 南あわじ市議長会(議長)
12日 淡路広域団体協議会協議会(議長)
13日 総務常任委員会
14日 遺族会(議長)
15日 文教厚生常任委員会
17日 兵庫県市議会議長会総会(正副議長)
18日 産建建設常任委員会
19日 ランニングフェスティバル(議長)
18日 議会運営委員会
19日 兵庫県市議会議員公務災害補償組合協議会
20日 兵庫県市議会議員公務災害補償組合協議会(議長)
22日 淡路広域団体協議会定例会
23日 南あわじ市・洲本市小中学校組合協議会定例会
27日 兵庫県市議会議員公務災害補償組合協議会(議長)
28日 淡路政経懇話会2月例会(議長)

3月

- 1日 議会定例会(3日目)
3日 少年野球春季大会(議長)
4日 議会定例会(4日目)
5日 議会定例会(5日目)
7日 議会定例会(6日目)
9日 スポーツ賞表彰式(議長)
11日 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス竣工式ほか(全議員)
12日 予算審査特別委員会
13日 市内中学校卒業式
14日 予算審査特別委員会
15日 議会運営委員会
16日 西日本から技術学院修了式(議長)
18日 予算審査特別委員会
19日 議員協議会
20日 うずしおまつり・桜まつり(議長、産建委員)
21日 高齢者大学うずしお学園修了式(議長)
22日 総務常任委員会
23日 文教厚生常任委員会
24日 老人大学うずしお学園修了式(議長)
25日 産建建設常任委員会
26日 淡路政経懇話会3月例会(副議長)
27日 市内小学校卒業式
28日 松帆保育園卒園式(議長)
28日 議会定例会(7日目)
29日 議会運営委員会
31日 広報広聴常任委員会
(財)淡路人形協会評議員会ほか(議長、文教委員)
東播・淡路市議会議長会監事会(正副議長)
淡路広域団体協議会臨時会
沼島汽船株式会社しもちり竣工式(議長)

新庁舎・市民交流センターの進捗は？

総務常任委員会

■1月19日と
2月13日の委員会

▼新庁舎建設

問 進捗状況は。
答 土地収用法の認可申請で決裁が遅れ、工程的に3か月の余裕を見ていたが工期がいっぱいといった状況。

▼市民交流センター

問 地域の活性化のための21地区での事業計画作成には最低限のルールが必要では。



▲4月1日、市民交流センターのモデル地区5カ所がオープンした(西淡志知)

答 モデル地区の経験を通じ、何か示したい。
問 再任用制度
答 今まで市職員が再任用制度を利用した人は合併後1人だけである。年金をもらうまでの空白期間を埋める意義ある制度であり、また経験者を要所に配置することで市民サービスの向上にもつながる。なぜ定着しないのか。
答 国も義務化の動きもある。国の制度がそうならば地方も準じていくと思う。

▼公文書の管理

問 公文書の管理方法は。
答 国民の財産という観点から国の公文書管理法の規定に沿っ



▶総務常任委員会



◀産業建設常任委員会

食の拠点施設の計画は？

産業建設常任委員会

■1月15日の委員会

▼食の拠点施設

問 食の拠点施設の進捗状況は。
答 場所はイングランドの丘付近で、25年度に実施設計を予定している。

問 運営方法の形態は。
答 各種団体が出資した合弁会社に運営をお願いしたいと考えている。

問 年間を通じての商品の確保は、どうするのか。

ている。今は各分庁舎の書庫にあるが、新庁舎統合後はよりよい文書管理システムを構築したい。そのための調査費を25年度に計上する。
問 地域おこし協力隊
答 協力隊員の生活面での支援をもっと考えるべきでは。

として応援していく。
問 姉妹都市、友好市町
答 人と人のつながり、きずなは財産。南あわじ市の発展にプラスとなるよう期待。
問 人の交流、文化の交流、産業の交流等を通じ相互のレベルを上げていくことが目的。友好のちぎりを結んだルーツ等もホームページ等で載せていきたい。

各委員会では、議会閉会中も調査活動等を行っています。
1月～2月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載していますので、ご覧ください。

レポート

ここが知りたい委員会調査

南あわじ市の介護の現状は？

文教厚生常任委員会

■1月24日の委員会

▼保育所・幼稚園

問 入所手続きはもつと迅速に出来ないのか。
答 10月締め切りであるが、未だに申し込みがある。4月1日にスムーズに入所できるように努力したい。

査、午後から所管事務調査を行った。

◎管内調査

・小規模多機能型居宅介護施設「あっとホームくにうみ」
・特別養護老人ホーム「すいせんホーム」
・淡路人形浄瑠璃館

▼介護

問 在宅で介護を申し込む際に、親戚同士の場合、ダメなのか。
答 介護保険の方で制限がある。認知症で他の人が対応できない等の場合に、特例として認められる場合がある。

問 施設利用料については、低所得者への配慮は。
答 低所得者に対して、自己負担額の上限を設けている。

■2月14日の委員会
午前に管内施設の調

問 淡路人形浄瑠璃館
答 淡路人形浄瑠璃館へ事務局を移すことを、現在協議中である。

▼淡路人形浄瑠璃館

問 避難用の表示が見あたらないのと、屋上に雨露をしのげる施設がない。
答 25年度の防災計画の見直しにより協議する予定。

子は勾配が5%未満であるのでつけていない。

▼客席の手すり

問 客席の手すりは喫緊の課題。アプローチ
答 25年度の防災計画の見直しにより協議する予定。



▲文教厚生常任委員会の管内調査。小規模多機能型居宅介護施設「あっとホームくにうみ」(八木)で施設説明を受ける

■2月15日の委員会

▼北海道乳牛の導入事業

問 北海道牛導入事業の目的と補助金の内訳は。
答 乳牛の飼育頭数が年々減少の傾向にあり、搾乳量の多い北海道牛を導入することで酪農の活性化を図るため。

問 北海道牛導入事業の目的と補助金の内訳は。
答 乳牛の飼育頭数が年々減少の傾向にあり、搾乳量の多い北海道牛を導入することで酪農の活性化を図るため。

問 牛との間の仔牛「F1」が入っていることがあると聞くが、目的にそぐわないのではないのか。
答 そのような意見も聞くが、F1の仔牛を売ること酪農の経営が助かるという意見もある。

広報広聴活動の活性化について

議会広報広聴常任委員会

▼視察結果報告

▽日時

2月4日～5日

▽視察先

三重県亀山市議会、
鳥羽市議会

●鳥山市議会

▽視察目的
①広聴広報活動の取り組み
②ケーブルテレビ番組「こんにちは」

は「市議会です」の制作構成

③ICTを利用した広報広聴活動

広報はメディアを通じて行っており、広聴は各常任委員会の所管事務調査で市民との協議を行い市長に政策提言を行っている。



▲亀山市議会を調査

「こんにちは」市議会です」は15分番組、放送期間2週間で、1日9回放送。原稿や構成には時間をかけて検討されているし、カメラの撮り方や進行役の議会事務局員の話し方は民報テレビに比べても遜色のないレベルとなっている。

●鳥羽市議会

議会報告会は3年間で91カ所2000人近い市民と意見交換をし、開催回数は全国最多。

インターネット放送

は生中継3万2748アクセス/年。録画中継1万1677アクセス/年。ツイッターは事務局員が行い、若年層などに議会活動の広報に役立っている。グループカレンダーに会議予定や日程を掲載し、傍聴しやすいよう整備している。IT化が特

に進んでいて議会中継をユーチューブ、ユーチューブに録画映像を掲載している。

▼まとめ

鳥山市も鳥羽市もケーブルテレビ事業を民間業者に委託しており、本市も民間委託（公設民営）の検討は必要と考える。議会の情報が常に広く公開されているので議会報告会が地域要望型から政策提言型に変化している。

南海トラフ巨大地震に備えて

地震・津波対策特別委員会

■1月28日の委員会

▼福良湾口に防波堤

問 1月1日の神戸新聞によると県が福良湾口に防波堤を作り、また阿万海岸の堤防をかさ上げということが載っていたが、詳細は。答 県は「津波防災インフラ整備5カ年計画」

を2月頃に発表すると連絡があった。これまでに国や県に要望してきたが、この計画で防波堤の整備が織り込まれてくる。福良湾口防波堤の設置にあたっては漁業への影響などがあることから、県は潮流調査や地元説明も行うとのことである。潮流

調査は、和歌山県海南市で建設中の直立浮上式の防波堤にするのか、

通常の防波堤にするのかを踏まえながら行うとのこと。

そこが知りた

委員会レポート

福良港対策一覧

対策	事業量	工程	
		25～30年度	31～35年度
①湾口防波堤の整備	今後検討		
②防波堤の越流対策・引波対策	防波堤3.9km		
③防波堤未整備区間の整備 陸閘・水門の閉鎖操作の自動化	防波堤0.8km 陸閘等34基		



阿万港対策一覧

対策	事業量	工程	
		25～30年度	31～35年度
①本庄川水門の整備	水門1基		
②既設防波堤の高上げ	嵩上げ0.7km		
③陸閘の新設(自動化)	陸閘4基		



▲兵庫県の津波防災インフラ整備5カ年計画より

※この後、本特別委員会では5月に和歌山県海南市の直立浮上式防波堤と、大阪府高石市の避難タワーの調査を実施することに決定した。

▼自主防災組織

問 南あわじ市の自主防災組織は充実した活動ができていますか。答 市内に187組織あり、市も活動を支援するため補助金を出している。阿万地区では

今、福祉課と共同で災害時要援護者をリストアップして、個別の避難支援計画を作成している。

問 組織の中で専門的な知識を持った「防災士」を育成するべきだと思いませんか。答 市民の方が18名、市職員で8名いる。

問 非常に少ない人数である。市は、防災士の育成に取り組むべきだ。

パソコンで傍聴いただけます

ご利用ください「インターネット中継」
本会議や委員会(一部を除く)をインターネットで生放送しています。

閲覧方法

- 1 南あわじ市ホームページを開く
南あわじ市 検索
- 2 南あわじ市ホームページから「南あわじ市議会」をクリック
- 3 「生放送」をクリック
- 4 「議会インターネット中継」をクリック
- 5 再生ボタンをクリック

議会報告会 にお越しく下さい

今回の議会だよりで紹介した3月定例会の内容を中心に、議員自らが議会活動について報告します。

あわせて市民の皆さま方との意見交換を行い、ご意見、ご要望をお聴きします。

お誘いあわせのうえ、ご参加ください。



☎ 議会事務局 ☎43-5005

日時	場所	内容
5月10日(金) 午後7時～	緑市民センター 3階大ホール	1. 議会報告 ①議会の役割 ②3月定例会の報告
5月17日(金) 午後7時～	西 淡 庁 舎 1階集会室	2. 意見交換



阿万



榎列

◎会場には、本広報紙をご持参ください。どちらの会場に参加していただいても結構です。

▲前回の議会報告会

第47回南あわじ市議会定例会日程（6月）

◆開会はすべて午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 6月7日(金)	1. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 2. 平成25年度補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 3. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日 6月13日(木)	1. 一般質問
第3日 6月14日(金)	1. 一般質問
第4日 6月17日(月)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日 6月18日(火)	
第5日 6月25日(火)	1. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



	会議日	会議内容
委員会	6月19日(木)	総務常任委員会
	6月20日(木)	文教厚生常任委員会
	6月21日(金)	産業建設常任委員会

編集後記

いつも議会だよりを最後までお読み頂きありがとうございます。

昨年11月の三原・南淡地域に引き続き、5月は緑・西淡地域の2カ所で「議会報告会」を開催させていただきました。皆様方から忌憚のないご意見を頂く一つの機会となれば幸いです。お繰り合わせの上、是非お越し下さいませ。

また、会場へお越し頂けない市民の皆様に対しても、引き続きケーブルテレビ番組や議会ホームページの充実を図っていく所存ですので、より一層の関心をお寄せいただければ幸いです。

ようやくの感はありますが、今国会での「インターネット選挙解禁法案」の導入を契機に政治行政の情報化についてもさまざまな変化が表れてくるのではと考えられます。我々地方議会も時代に即して敏感に様変わりしていかなければなりません。議会の情報化についても是非ともご意見をお寄せください。
(出田)